

発達段階に応じた言語活動

	国語科「話すこと・聞くこと」の目標に準じた、話す・話し合う活動の系統		「書くこと」の目標に準じた書く活動の系統
	○話し方 ◎話し合い方	○聞き方 (メモ)	○書き方
小学校低学年	○相手に応じ、経験したことなどについて 事柄の順序 を考えながら話す。 ◎話し手を見たりうなづいたりして話し合う。	○大事なことを落とさないように聞く。	○事柄の順序に沿って書く。 ○語や文の 続き方 に注意し、つながりのある文を書く。
小学校中学年	○相手や目的に応じ、調べたことなどについて 理由や根拠、事例 を挙げ、 筋道立てて 話す。 ◎互いの 共通点や相違点を整理しながら 話し合う。	○話の 中心(要点) を聞き、質問したり感想を述べたりする。	○累加と並列、具体と抽象、結論と理由などの 段落相互の関係 に注意して書く。 ○書きたいこと の中心 を明確にし、 理由や事例 を挙げて書く。
小学校高学年	○目的や意図に応じ、考えや伝えたいことについて、 事実と感想、意見を区別したり 、文言や数値を引用したりして、 話の構成を工夫して 話す。 ◎互いの 立場や意図 を考え、時間を意識し、計画的に話し合う。	○話し手の意図をとらえ、 自分の考えと比べて 、共通点や相違点、 関連して考えたことを整理して 、考えをまとめる。	○序論・本論・結論など 文章全体の構成の効果を 考えて書く。 ○ 事実と感想、意見を区別して 書く。 ○引用したり図表やグラフを用いたりして、分かりやすく書く。
中学校	○目的や場面に応じ、 事実と意見の関係や、話の中心的部分と付加的部分 に注意し、 論理的に話を構成して 話す。 異なる立場の 反論や質問に備えて 話す。 ○資料や機器などを効果的に活用して話す。 ◎互いの発言を検討し考えを広げる。 ◎効果的な話し合いになるよう注意し、 課題解決に向けて互いの考えを生かし合う。	○質問、確認などし、自分の考えとの共通点や相違点を整理する。 ○話の論理的な 構成や内容、表現の仕方を評価し 、自分の考えに生かす。	○自分の考えや気持ちを、 根拠を明確に して書く。 ○事実や考えが相手に効果的に伝わるよう、 説明や具体例 を加えて書く。 ○ 論理の展開を工夫したり 、資料を適切に引用したりして、説得力のある文章を書く。